

＜対策のポイント＞

農林水産業・食品産業の持続性を高めるため、スマート農業技術にも対応した品種開発の加速化、農林漁業者等のニーズ対応、気候変動などの新たな課題、バイオ技術を活用したイノベーション創出、実需者のニーズに応じた産地の形成及び横展開に向けた研究開発を国主導で推進します。また、研究成果の社会実装に向け、アウトリーチ活動の展開など研究開発環境の整備を実施します。

＜事業目標＞

- 重要課題に対応する技術を開発し、農林漁業者等がその開発された技術を実践〔令和10年度まで〕
- 技術戦略の策定、アウトリーチ活動の展開により、農林水産業・食品産業にイノベーションを創出〔令和10年度まで〕

＜事業の内容＞

1. 研究開発

農林水産業・食品産業の持続性を高めるため、国主導で実施すべき重要な分野について、戦略的な研究開発を推進します。

① みどりの品種開発研究

生産性向上と環境負荷低減を両立し、スマート農業技術とも連携する「みどりの品種」を開発するとともに、ゲノム編集等の育種技術を用いた育種素材の開発を推進

② 現場ニーズ対応型研究

農林漁業者等のニーズを踏まえ、現場では解決が困難な技術的問題を解決し、現場への早期普及を視野に入れた研究開発を推進

③ 革新的環境研究

脱炭素や温暖化適応技術の実用化等の環境に配慮した研究開発を推進

④ アグリバイオ研究

バイオ技術等の先端技術を活用したイノベーション創出に向けた研究開発を推進

⑤ 地域共創型研究

実需者のニーズに応じた生産を推進するため、生産現場で生じている課題解決に向けて、川上から川下までが参画し、研究機関が主体となり新技術の横展開を含めた研究開発を推進

2. 環境整備

研究開発と成果の社会実装を効果的に進めるよう、最新の研究開発動向の調査やアウトリーチ活動の展開等の環境整備を行います。

① 知財マネジメント強化

研究成果の効果的な社会実装に向けた知財相談対応、専門家派遣等を実施

② 海外・異分野動向調査

海外・異分野の研究動向について市場性やグローバルベンチマーク等を含む調査を実施

③ みどりの食料システム戦略実現のためのアウトリーチ活動の展開

先端技術の社会実装に向けて、専門家と国民・関係業界とのサイエンスコミュニケーション等を実施

＜事業イメージ＞

みどりの品種開発研究



気候変動への対応
スマート農業技術対応品種
化学肥料・農薬の使用量削減

【研究内容（例）】

- ・スマート農業機械による管理・収穫作業に適用し、作業効率を高めるために最適な着果位置や果実形状を持つカボチャ、ナシ、イモ類等の新品種を育成 等

【期待される効果】

- ・栽培マニュアルの作成を通じて、速やかな普及体制を構築するとともに、交配に用いる材料とすることで全国に効果が波及し、食料安定供給や地域発展に貢献 等

現場ニーズ対応型研究



【研究内容（例）】

- ・シャインマスカットにおける未開花症の複数年にわたる全国的な発生実態の調査及び発生園地の状況調査と発生年の気象要因調査を実施 等

【期待される効果】

- ・「シャインマスカット」等高収益性ぶどうの高品質かつ安定供給の実現により国際競争力強化に貢献

革新的環境研究

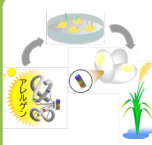


- 【研究内容（例）】
- ・土壌くん蒸剤使用量の低減に向け、従来では消毒しきれない地下深部の病原を消毒する技術の開発 等

【期待される効果】

- ・2030年までに化学農薬使用量（リスク換算）を10%低減に貢献 等

アグリバイオ研究



- 【研究内容（例）】
- ・スギ花粉米に関する複数年の臨床研究の実施により、ヒトでの効果や摂取方法等のデータを取得し、効果的な摂取条件を解明 等

【期待される効果】

- ・スギ花粉米の実用化に向けたエビデンスの蓄積

地域共創型研究



- 【研究内容（例）】
- ・水田転換果樹園の生産性向上及び安定供給に向け、水田転換園の診断技術及び診断結果に合わせた暗渠敷設等の基盤整備手法の開発 等

【期待される効果】

- ・2030年までに化学農薬使用量（リスク換算）10%低減、化学肥料20%低減に貢献 等

＜事業の流れ＞

